

令和7年度 林業普及週間現地情報

森林管理課

なは小児童クラブでの木育活動

7月23日（水）

令和7年7月23日に、なは小児童クラブで小学4年生17人を対象に、森林管理課及び南部林業事務所の普及員が講師となり木育活動を行った。

はじめに、森林や木の役割、それらと人との関わりについて理解を深めるため、沖縄の森林に関する動画を視聴してもらい、木は伐った後も植えて育てれば循環可能な資源であることを説明したほか、那覇小学校に生育する樹木のクイズを行った。

座学後は、どんぐりや松ぼっくりなど木の実や木片を使った工作を行った。自分で素材を組み合わせて自由に制作をしてもらったところ、松ぼっくりでツリーを制作する児童、木片をつなぎあわせて造形を作る児童など、1時間の製作時間を目いっぱい使って、個性豊かな作品が出来上がった。

最後のふりかえりで、座学で勉強した沖縄県や那覇市の森林率について問題を出すと大きな声で正解が返ってくるなど、今回の木育活動をとおして木や森への関心が少しなりとも深まったと思われる。

都市部は森林が少なく森林そのものと触れ合う機会は少ないが、森林は安定的な水の供給や木を由来とした製品をとおして我々の生活に恵みをもたらす、人間と切り離せない存在であることなど、今後も森林について考えるきっかけを提供していきたい。



座学



体験活動

（報告者：森林管理課 仲里、平田、石垣

南部林業事務所 玉城、眞鍋、新垣）